K.Miura

THE LORD DERBY CHALLENGE TROPHY 第56回 ダービー卿チャレンジトロフィー（GⅢ）

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	41,000,000円	16,000,000円	10,000,000円	6,200,000円	4,100,000円
付加賞	560,000円	160,000円	80,000円		

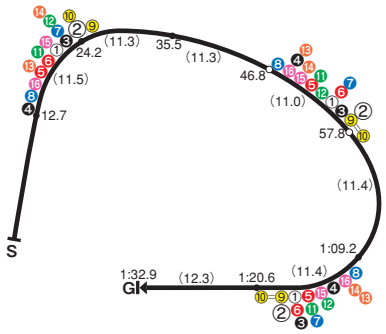
レース映像はコチラでご覧いただけます。

4歳以上、2023.4.1以降2024.3.24まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　ハンデキャップ

2024.3.30　中山　晴・稍重　芝1600㍍　（国際）（特指）

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム（着差）	コーナー通過順位	上り（600㍍）	馬体重（増減）	単勝オッズ	調教師	レーティング
1	②	パラレルヴィジョン	牡5	57	戸崎圭太	1:32.9	2-2-2	34.0	486(－16)	6.1②	国枝　栄(美浦)	109
2	⑩	エエヤン	牡4	57	M.デムーロ	¾	2-1-1	35.2	484(－8)	14.5⑧	伊藤大士(美浦)	107
3	⑤	アスクコンナモンダ	牡5	57	岩田望来	1½	12-9-7	33.9	450(－10)	7.8⑤	中内田充正(栗東)	104
4	⑪	ニシノスーベニア	牡5	56	大野拓弥	クビ	10-9-7	33.9	532(－6)	6.7③	上原博之(美浦)	102
5	①	ダディーズビビッド	牡6	57.5	三浦皇成	1	8-5-4	34.4	500(＋2)	41.9⑫	千田輝彦(栗東)	
6	④	タイムトゥヘヴン	牡6	57	北村友一	クビ	16-13-12	33.6	488(－6)	30.6⑪	戸田博文(美浦)	
7	⑨	セッション	牡4	57	横山武史	1½	1-2-2	35.0	510(－4)	7.3④	斉藤崇史(栗東)	
8	⑮	レイベリング	牡4	55	丹内祐次	アタマ	8-11-10	34.1	478(±0)	23.1⑩	鹿戸雄一(美浦)	
9	⑧	アルナシーム	牡5	57	横山和生	½	15-16-16	33.8	444(±0)	16.8⑨	橋口慎介(栗東)	
10	③	ラインベック	騸7	57	石橋　脩	½	4-4-4	35.0	484(－4)	67.7⑬	友道康夫(栗東)	
11	⑦	ディオ	牡5	57.5	北村宏司	アタマ	4-5-7	34.8	496(－2)	4.6①	辻野泰之(栗東)	
12	⑬	クルゼイロドスル	牡4	56	津村明秀	1¾	12-13-13	34.4	488(－10)	9.0⑥	高橋義忠(栗東)	
13	⑯	ドルチェモア	牡4	56	内田博幸	クビ	14-13-13	34.3	474(－4)	127.5⑯	上原佑紀(美浦)	
14	⑥	インダストリア	牡5	58	石川裕紀人	1	10-5-4	35.3	492(±0)	13.0⑦	宮田敬介(美浦)	
15	⑫	グランデマーレ	牡7	57	田辺裕信	3½	4-8-10	35.8	502(＋6)	81.5⑭	藤岡健一(栗東)	
16	⑭	キミワクイーン	牝5	55.5	菅原明良	4	4-11-13	36.1	452(－2)	91.8⑮	奥村　武(美浦)	

単勝②610円(2人気)　複勝②250円(4人気)　⑩460円(8人気)　⑤240円(2人気)　枠連①-⑤1,370円(6人気)
馬連②-⑩6,460円(27人気)　ワイド②-⑩1,850円(23人気)　②-⑤920円(7人気)　⑤-⑩2,510円(35人気)
馬単②-⑩11,250円(45人気)　3連複②-⑤-⑩15,740円(52人気)　3連単②-⑩-⑤91,710円(304人気)



通過タイム：600㍍ 35.5 - 800㍍ 46.8 - 1000㍍ 57.8　上り：800㍍ 46.1 - 600㍍ 35.1

アラカルト

- 戸崎圭太騎手はインダストリアで制した23年に続くダービー卿チャレンジトロフィー3勝目。ＪＲＡ重賞は本年2勝目、通算72勝目
- 国枝栄調教師はロジチャリスで制した17年に続くダービー卿チャレンジトロフィー4勝目。ＪＲＡ重賞は本年2勝目、通算66勝目
- キズナ産駒はＪＲＡ重賞通算27勝目
- 5歳馬の勝利は19年フィアーノロマーノに続く通算20勝目
- 非抽選馬　1頭(ショウナンマグマ)

パラレルヴィジョン *Parallel Vision*

牡　鹿毛　2019.2.4生
北海道安平町　ノーザンファーム生産
馬主・㈲キャロットファーム　美浦・国枝栄厩舎
馬名意味・４ヶ国で開催された生の芸術を集めた展覧会。母名より連想

イグジビットワンUSA系　F9-e

キズナ 青鹿毛　2010	ディープインパクト 鹿毛　2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛　1990	Storm Cat
		Pacific Princess
アールブリュット 鹿毛　2012	Makfi 鹿毛　2007	Dubawi
		Dhelaal
	イグジビットワンUSA 鹿毛　2002	Silver Hawk
		Tsar's Pride

5代までのインブリード：Hail to Reason Ｓ５×Ｍ５　Northern Dancer Ｓ５×Ｍ５

INTERVIEW

伊藤隆行厩舎長（ノーザンファーム空港）

今後の活躍が楽しみです

育成時から能力を高く評価していました。骨折もあってデビューは遅くなりましたが、そこから連勝したレース内容や、３勝目を挙げた東京芝2000㍍のレースを見たときには改めて強い馬だなと思いました。その後はダートも勝ったり、芝のマイル戦を連勝しての重賞制覇など、適性がどこにあるのかを提起してくれる馬ですね。それだけに今後の活躍が楽しみです。

父キズナ

北海道新冠町　株式会社ノースヒルズ生産　中央、仏14戦７勝(日本ダービー^{G_I}、大阪杯$^{G_{II}}$、京都新聞杯$^{G_{II}}$、ニエル賞・仏^{G_2}、毎日杯$^{G_{III}}$)、最優秀３歳牡馬、16年から供用。23年日本２歳リーディングサイヤー

〔代表産駒〕**ソングライン**(安田記念^{G_I}２回、ヴィクトリアマイル^{G_I}、富士Ｓ$^{G_{II}}$、1351ターフスプリント・沙^{G_3})、**ジャスティンミラノ**(皐月賞^{G_I})、**アカイイト**(エリザベス女王杯^{G_I})、**ディープボンド**(阪神大賞典$^{G_{II}}$２回、フォワ賞・仏^{G_2}、京都新聞杯$^{G_{II}}$、天皇賞(春)^{G_I}２着３回、有馬記念^{G_I}２着)、**バスラットレオン**(ニュージーランドトロフィー$^{G_{II}}$、ゴドルフィンマイル・首^{G_2}、1351ターフスプリント・沙^{G_3})、**マルターズディオサ**(チューリップ賞$^{G_{II}}$、紫苑Ｓ$^{G_{III}}$、阪神ジュベナイルフィリーズ^{G_I}２着)、**アスクワイルドモア**(京都新聞杯$^{G_{II}}$)、**シックスペンス**(スプリングＳ$^{G_{II}}$)、**ピアンフェ**(函館スプリントＳ$^{G_{III}}$、函館２歳Ｓ$^{G_{III}}$)、**ファインルージュ**(紫苑Ｓ$^{G_{III}}$、フェアリーＳ$^{G_{III}}$)、他に重賞勝ち馬多数

母アールブリュット

北海道安平町　ノーザンファーム生産　中央14戦４勝(道新スポーツ賞)

パラレルヴィジョン 本馬(19 牡父キズナ)中央13戦６勝(ダービー卿チャレンジトロフィー$^{G_{III}}$、ニューイヤーＳ・L、ＪＲＡアプリリリース記念)獲得総賞金135,888,000円

(20 牡父ブラックタイド)

アンフォルメル(21 牡父ドゥラメンテ)㊖

(22 不受胎)

(23 牡父キズナ)

祖母イグジビットワンUSA

伊、仏、英３勝(カルロダレッシオ賞・伊^{G_3}、パオロメッツァノッテ賞・伊^{G_3}、アンブロシアーノ賞・伊^{G_3}２着、ミラノ大賞・伊^{G_I}３着)、11年輸入、20年死亡

オークション Auction(10 牝父Mr.Greeley)英、仏３勝(サンドリンガムＨ・英Ｌ２着)

アールブリュット(12 前出)

メートルダール(13 牡父ゼンノロブロイ)中央６勝(中日新聞杯$^{G_{III}}$、多摩川Ｓ、アメジストＳ、精進湖特別、葉牡丹賞、新潟記念$^{G_{III}}$２着)

マスターワーク(17 牝父ダイワメジャー)中央２勝

曾祖母ツァーズプライド Tsar's Pride

イギリス産　仏１勝(リアンクール賞・Ｌ２着)、**ロストヴァ** Rostova(カシミールドゥラマーレ賞・仏L)、**パヴロスク** Pavlosk(マイケルシーリーメモリアルフィリーズＳ・英L)の母、**ザリンスク** Zarinsk(ミンストレルＳ・愛^{G_2})の祖母

さらなる躍進を予感させる重賞初勝利

過去2年間の優勝馬(タイムトゥヘヴン、インダストリア)や、2年前の2歳マイル王ドルチェモアも参戦したダービー卿チャレンジトロフィーだが、中心勢力と目されたのは6頭の重賞未勝利馬。ハンデ戦らしく人気は割れ、上位拮抗の様相を呈したなか、2勝クラス特別から3連勝中の新星ディオが1番人気に支持された。とはいえ、混戦ムードに断を下したのは2番人気のパラレルヴィジョン。3歳時から将来を嘱望されてきた素質馬が中身の濃い内容で勝利を飾り、5歳を迎えて本格化を印象付けた。

先手を主張したセッションを2コーナーでエエヤンがかわし、次第にリードを広げてレースを先導。内枠から好スタートを決め、一番のダッシュで飛び出したパラレルヴィジョンの戸崎圭太騎手は、馬と呼吸を合わせて離れた好位を進む。ディオはこれを見るように直後の4、5番手を追走。同舞台の3勝クラス特別を5馬身差で圧勝し、3番人気の支持を集めたニシノスーベニアは中団で末脚勝負に構えた。

大逃げの形に持ち込み、気分よく飛ばしたエエヤンは後続を7馬身近く離して4コーナーをターン。一方の戸崎騎手も照準を前に定め、早めに追撃にかかる。直線坂下でも4、5馬身のリードをキープしていたエエヤンの押し切りは濃厚と映ったが、エンジンに火がついたパラレルヴィジョンはビハインドを跳ね返す末脚を発揮。坂を駆け上がり、少し脚色が鈍った逃げ馬を一気に捉えてゴールに飛び込んだ。

キズナ産駒の本馬は3歳4月にデビュー。既走馬相手の初陣を勝ち上がると、続く1勝クラス戦も好時計で完勝し、秋の神戸新聞杯では1番人気(7着)に支持された経歴を持つ。そんな3歳時から4歳時にかけては、ゲートで後手を踏む場面も目立ったが、5歳を迎えてスタートに進境を示し、前走のニューイヤーSは好位追走から悠々と抜け出してオープン初勝利。この日も勝ちパターンに持ち込んだ逃げ馬を息の長い末脚でねじ伏せ、さらなる躍進を予感させる勝利を飾った。

A.Takeda